

人間総合研究センター主催 **人間科学研究交流会**
-Current Topics in Human Sciences-
第 60 回

日 時:2022 年 4 月 13 日(水) 17:00~17:45 (約 45 分)

開催方法:Zoom によるオンライン開催

申込方法:以下の申請フォームからお申し込みください。

<https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=MzfnQ-64ua2nslSd8DGVmQ>

※申込期限は開催当日午前 10 時まで。(問合せ先 tokojimu-soumu@list.waseda.jp)

※当日の URL は、お申し込み時の返信メールに記載してお送りします。

話題提供者:

人間科学学術院 助手 橋爪太作

演 題:

**フタバガキが倒れるとき:メラネシア社会・文化人類学における植物の
メタファーを現代ソロモン諸島の森林伐採現場から検討する**

【演題要旨】

南太平洋メラネシア地域の社会・文化人類学では、メラネシアの人々が親族関係や人格などの社会的なものを構築するやり方において、イモ類栽培を中心とした熱帯生態系における生業活動がある種のメタファーとして働いていることを明らかにしてきた。

婚入した女性はイモと同じように夫のクランの土地に「植えられ」、生まれた子供はその土地で育ったイモを食べることにより父方集団の「新芽」となる。

では、森林伐採事業のような大規模な生態系への介入において、このような自然と文化が互いに入れ子になった伝統的メラネシア社会の論理はどのように変形され、新たな側面を露わにしているのか。

本講演ではこの問いを先行研究の批判的検討と発表者自身のフィールド調査から明らかにする。



主催：早稲田大学人間科学学術院 人間総合研究センター